

### 【質問】

『舞姫』問一で、「自覚」の内容をスライドした時に、「このような過去の自分を反省した」という部分が付け加えられる理由を教えてください。

### 【回答】

p. 314 | . 8に、「ただ所動的、器械的の人物になりて自ら悟らざりし」とあります。自分では受動的に（父、母、官長の）言いなりになっていたことを自覚していなかったということです。

「奥に潜みたりしまことの我」が「自覚していなかった」というのですから、この時になって初めて自覚した自分は、自覚しただけで済むとは考えられません。当然、マイナスな自分を自覚したのならばプラスに転じようとするはずです。そこに「反省」が出てくる根拠があります。

「我ならぬ我を攻むるに似たり。」とはそういうことです。

傍線部を含む一文を参考にするのですから、「まことの我は」の係助詞「は」が、主語を表しながら述語とのイコール関係にあることに配慮しなければならないでしょう。（益田）